

「睡眠呼吸障害例における内皮機能の調査」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2015年5月20日～2019年12月31日

〔研究課題〕

循環器疾患合併睡眠呼吸障害例における無呼吸症重症度と内皮機能との関係

〔研究目的〕

睡眠呼吸障害(睡眠時無呼吸症)の方は動脈硬化が進行しやすいと言われていますが、その原因として血管内皮(血管の内張構造)が障害されることが想定されています。当院では、無呼吸症の精密検査入院の方には、この血管内皮の機能を調べる検査を同時に行っており、両者の関係を明らかにする調査です。

〔研究意義〕

睡眠呼吸障害(睡眠時無呼吸症)をお持ちの方で、どのような方が特に動脈硬化の進行に気をつけるべきかが明らかとなります。

〔対象・研究方法〕

2011年5月から2018年12月までに、当院に睡眠呼吸障害の精密検査目的で入院し、内皮機能検査を同時に行われた方が対象となります。病歴(カルテ)での結果調査を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部・臨床検査医学

〔個人情報の取り扱い〕

本研究は、「ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。調査結果は、個人情報と切り離して扱い、個人情報は保護されます。検査結果の本研究への使用を拒否される場合は下記へ連絡いただければ、削除いたします。研究開始後は、匿名化を行い、結果を集計するため個別の結果を削除することはできなくなります。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:古川泰司 教授 研究分担者:岡部竜太 大学院生

所属:帝京大学医学部・臨床検査医学

住所:板橋区加賀2丁目11の1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 32301〕